※各労働組合、団体の機関紙やニュースなどに転載・ご利用下さい。自由に切り貼りしていただいて結構です。

社保協「介護・認知症なんでも無料電話相談」を11月11日(水)に実施　　お気軽にお電話下さい！

中央社保協では毎年11月11日「介護の日」に、「介護認知症なんでも無料電話相談」を東京を起点に各都府県社保協が参加して取り組まれ、今年で10回目となります。昨年は25都道府県が参加して252件の相談が寄せられました。電話相談では、共催をした認知症の人と家族の会に加え、全国ヘルパーネット連絡会、全日本民医連のケアマネジャー等の相談員が電話を受け、介護をめぐって地域、施設、家庭での悩みや相談を受け止めアドバイスを行いました。

昨年、在宅介護をめぐり相談の中で出された「想い」の一端は次のようなものでした。

「介護による強度のストレスを感じる」「理解してくれる人が周りにいない」「娘は介護のために仕事を辞めた。鬱病を発症。どうしたら良いのか」「介護をしている同居の母は、夜も眠れずぐったりしている」「私の体を休めることができない」「介護している妻がくたくたでどう対応すれば良いか分からない」「介護する父のストレスがたまり母をたたく」「要介護者との関係に加え、周り家族との関係も問題が生じ、どうすれば良いのか悩む」「夫の介護。毎日が辛い。どういう気持ちで過ごしたら良いのか。気持ちの切り替え(方)を知りたい。毎日胃が重く、寝不足、ふらつく。決して夫が嫌なのではない。夜間の排尿が一番の悩み。寝不足だが、排尿をやらないと、ベッドが海のようになる。」など悲痛な叫びが吐露されています。仮に介護保険サービスを使えたとしても100％生活がカバーされることはない中で、家族の介護への負担は未だ尚大きなものであることがわかります。また、20年を迎えた介護保険ですがいまだに「利用方法がわからない」などの電話もあり、介護で困っているが声を出す場もわからず相談されるケースもありました。

今年は、新型コロナウイルス感染の拡大のなかで、介護サービスの利用を自粛した利用者・家族の方も沢山おられます。「デイサービス」など通所系サービスが大きな影響を受け、自宅などでの介護でカバーせざるを得ない等困難を抱え悩んでおられる方も増加していることが考えられます。そして、各労働組合や団体にご参加の皆さんの中にも「介護での悩み」を様々お持ちのかたも多数おられることと思います。各地の社保協と認知症の人と家族の会が行う「電話相談」です。どんなことでも気軽にご相談下さい。

〇介護・認知症なんでも無料電話相談

　　相談日　　2020年11月11日(水)午前10時～午後6時

　　相談先　　0120-110-458(フリーダイヤル)